

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	今できていることを奪わない、ということを常に意識した支援を行っている。集団で何かを行う場面は少なく、利用者様がしたいことをしたいように過ごせるよう見守っており、それぞれがそれぞれの時間の流れの中で過ごされている。訪問時も家事等代行するのではなく、自分でできるための支援にこだわってサービス内容を検討している。 その人のその時の状況に合わせて、送迎時間や訪問時間を調整し対応している。 独居の方の栄養状態改善のため、利用登録者に限り配食のサービスも提供しており、自宅での生活を総合的に支えられるよう努めている。独居の方では、体調不良の時に限り宿泊を利用し、不安なく療養できるようにしている方もある。
事業所名	あったかほーむ稲葉	管理者	小柳 友輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	1人	人	5人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続きタブレットの情報共有に努めていく。また、会議やミーティングの機会を増やしていく。	・自分の思いを伝えられる利用者様の情報共有はできていると思うが、そうでない利用者様へのアプローチがあまりできていなかった。	・スタッフ間の情報共有ができていると感じます。 ・自己評価に取り組んでいる姿勢が窺えます。その努力に対し評価します。 ・通常業務中、毎年、多くの項目について自己評価を行い、改善に繋げているので、これを基にサービス向上に取り組んでいただきたいと思います。 ・タブレットの使用、会議等での振り返りで利用者の状況を把握する循環ができるよう引き続き取り組みをお願いします。 ・タブレットの記録をケアマネや作業療法士にも適切に伝えることができれば、タブレットの有効性が発揮でき、計画が達成可能となると思います。 ・事業所自己評価の2の「～したいの実現」（自己実現の尊重）で、できていない点を考察して、改善につなげることができるようお願いします。	・利用者様一人一人のしたいことや思いを会議、ミーティング、カンファレンスを通し多職種で共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・心地よい空間とする為、引き続き物は増やさずにある物で工夫し使用することで、圧のない空間作りをしていく。	・物は増やさないようにしていた為、圧のない空間にしていこうとしたが、建物の所々に不具合が生じてしまった為、利用者様にご不便をおかけしてしまいました。	・居心地の良い空間だと感じます。 ・事業所内は清潔が保たれアットホームな雰囲気です。外部環境も静かで、落ち着いています。玄関のセキュリティは保持されています。 ・運営推進会議で事業所を訪問しますが、外も静かで、事業所内も快適な温度や湿度になっていると思いますので、利用者も穏やかに過ごしていると思います。 ・事業所内、外ともに綺麗に整理整頓されていました。 ・事業所内は物も片付けられていると思うので、引き続き整理整頓をお願いします。	・利用者様の導線の確保や動きやすい空間とする為、物は増やさずに圧迫感のないホームにしていこう。また、ホームも10年以上となる為、建物に不具合が出た際は早急に修理する。

C. 事業所と地域のかかわり	・民生委員の方や回覧板などを通じ、積極的に地区の行事に参加していく。夏祭りに関しては、会社内での感染症対策の状況を見ながら検討していく。	・地区の行事や催し物に積極的に参加していくことができた。他地区に関しては、一地区しか関わらなかった。	・地区のはつらつ体操、日語サロンに参加していただき嬉しく思います。良い交流ができています。 ・気持ちよく挨拶をして頂いており、事業所は地区公民館に隣接していることから、地元での知名度は高いと思います。公民館に隣接していることから普段から交流があり、福祉推進委員会が主催する、はつらつ体操、日語サロンに参加して頂いているほか、防災訓練、どんど焼き、子供神輿などに参加して頂いています。 ・地域の行事やイベント等に参加しているので、事業所は地域の方によく知られていると思います ・地区の防災訓練に参加したり、日語サロン、高田健康塾など、地域の行事、イベント等に積極的に参加していると思います。夏祭りで流しソーメンを行ったようで、利用者の方も楽しまれたと思います。 ・今後も親交を深めてゆくことが必要と思います。 ・今後とも、感染症等に配慮しながら、地域の行事等に積極的に参加して、地域との連携を深めていただければと思います。 ・お隣が公民館ですので、イベントなどへ参加してほしいです。	・引き続きホームのある地区だけではなく他地区行事に回覧板等の情報を通してながら参加していく、積極的に関りを広げていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・ホームのある地区だけではなく、他利用者様が住まれている地区の民生委員の方をご家族様や地域包括を通し、把握に努めています。	・施設のある地区の方々には、ホームの存在を把握していただけていると思うが、その他の地区へのアプローチができていなかった。	・季節の行事など、工夫されて楽しいそうです。スタッフの方がいろいろと工夫されていると感じます。 ・地域の行事である「はつらつ体操」、「日語サロン」、「どんど焼き」、「子供神輿」などに参加して頂いています。 ・できている点にも記載がありますが、「訪問の際に知りえる気づきがとても大切」とあるので、日々の業務の中からも利用者の方の生活を把握する視点を大切にいただければと思います。 ・引き続き、地域との関りを深めて、民生委員との繋がりを築いていただきたいと思います。 ・施設の駐車場の利用で地区の方との交流ができホームの事を知るきっかけにもなると思います。	・訪問時など回覧板などを確認させていただき、他地区で行われているものを把握し、その中で民生委員との繋がりを構築していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ホームの運営報告は簡潔に報告し、地域の課題や意見などを言える時間を増やしていく。	・ホームの運営に対してのご意見や要望は伺えているが、地区から行政、行政から地区への意見を言える時間設定がうまくできてい	・運営推進会議を積極的に開催されていて感心します。また、他の施設に比べ回数が多くひらかれた施設だと思います。 ・運営推進会議では、資料を提出し判りやすく丁寧に説明して頂いています。 ・毎回の運営推進会議で、施設の利用状況	・引き続きホームの報告を行っていきながら、地区の相談事や意見を言える時間を設定していく。

		なかった。	や様子等をご報告いただきありがとうございます。 ・運営推進会議で、地区区長さんや民生委員さんから、地区のイベント等に利用者の方が参加する際の意見が出されていて、それについて話し合いがされているので有意義な会議が開催されていると思います。 ・運営推進会議では、気兼ねのない意見交流が行われている。 ・引き続き、運営推進会議で出された意見から、利用者の方が地域のイベント等に参加しやすくなるなど、多様な意見を話し合い、改善に繋げられるような場にしていただきたいと思います。 ・毎回の資料作成ありがとうございます。	
F. 事業所の 防災・災害対策	・春と秋に開催している地区の防災訓練に参加し、防災に関するの情報共有をしていく。	・地区の防災訓練に春と秋の２回参加させていただくことができたが、災害時のホームの動きと地区の動きが把握できていなかった。	・地区の防災訓練にも参加され、お互いに協力したいと思います。 ・事業所内での防災訓練の実施、地区の防災訓練の参加など、訓練をしっかりしているので危機管理意識が高いと思いました。 ・情報共有する物を設定するように心がけて頂きたい。 ・日詰区の防災訓練に年２回参加されているので、来年度以降も継続して参加をお願いします。 ・運営推進会議でも、防災についての意見交換がありました。 ・地区としては、災害時に区民と事業所利用者の区別なく避難、救助、支援などをすべきと考えますが、地区の支援マンパワーに限界があり、検討すべき課題と考えています。 ・事業所サイドの防災計画についても情報共有し、お互いにとって良い対策を検討することが必要と考えます。 ・災害時において日頃からお互い顔の見える関係性が大切だと思います。双方とも安心することであうまうできていくと感じます。	・年２回の地区の防災訓練に参加していき、地区とホームでの連携項目を明確にしていく。